

定例記者会見

令和7年4月2日(水) 13時30分

感染症動向およびワクチン接種勧奨

福岡市医師会 常任理事 植山 奈実



○福岡市感染症発生報告数（定点報告）

※福岡市HPを元に作成

五類感染症（定点報告）疾病	福岡市（直近5週の定点当たり報告数）					福岡県	全国	警報 レベル	注意報 レベル
	R7年8週 2/17~2/23	R7年9週 2/24~3/2	R7年10週 3/3~3/9	R7年11週 3/10~3/16	R7年12週 3/17~3/23	R7年12週 3/17~3/23	R7年12週 3/17~3/23		
新型コロナウイルス感染症	6.49	4.37	3.55	3.33	2.69	2.60	3.23		
インフルエンザ	1.45	2.02	1.25	1.41	1.08	1.55	1.98	30	10
RSウイルス感染症	3.48	3.76	4.14	4.55	3.48	2.71	1.18		
咽頭結膜熱	0.48	0.21	0.66	0.38	0.31	0.42	0.26	3	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7.24	5.14	5.14	4.62	4.62	3.27	1.96	8	—
感染性胃腸炎	11.90	13.48	12.17	11.07	11.00	11.05	9.04	20	—
水痘	0.59	0.21	2.03	0.31	0.69	0.29	0.32	2	1
手足口病	0.03	0.21	0.07	0.03	0.03	0.05	0.04	5	—
伝染性紅斑	0.34	0.10	0.45	0.97	0.97	0.47	0.67	2	—
突発性発疹	0.17	0.28	0.31	0.21	0.24	0.28	0.18		
ヘルパンギーナ	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	6	—
流行性耳下腺炎	0.00	0.03	0.00	0.07	0.03	0.03	0.03	6	3
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.29	0.12	0.08	1	—
流行性角結膜炎	0.29	0.14	0.57	0.29	1.29	0.62	0.83	8	—
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02		
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.13	0.03		
マイコプラズマ肺炎	1.50	1.00	0.50	0.00	0.00	0.53	0.27		
クラミジア肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0.50	1.00	1.50	0.50	2.00	0.33	0.20		

○ 急性呼吸器感染症(A R I)

- ・ 急性呼吸器感染症とは、

※厚生労働省HPを元に作成

急性の上気道炎（鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎）

または下気道炎（気管支炎、細気管支炎、肺炎）を指す病原体による症候群の総称。

インフルエンザ・新型コロナウイルス・RSウイルス・咽頭結膜熱・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・ヘルパンギーナなどが含まれます。

- ➡ 令和7年4月7日より、感染症法上の5類感染症に位置付けられますが、**新たな制限や負担が求められるものではありません。**

インフルエンザや新型コロナなどに加え、流行しやすい急性呼吸器感染症の全体を把握することにより、感染症の早期の注意喚起や国内の医療体制の整備に繋げ、国民全体の安全・安心を守る体制を目指すものです。

かぜ症状等がある場合は、これまで同様基本的な感染対策をお願いします。

○ 感染性胃腸炎

<特徴等> 特徴・・・一年を通して発生するが、特に冬季に流行。
乳幼児に好発し、1歳以下の乳児は症状の進行が早い。
感染経路・・・**接触感染、経口感染、飛まつ感染**

<症状等> 潜伏期間・・・**1～3日**
症状・・・下痢、吐き気、嘔吐、腹痛、発熱等

<治療・予防> 治療・・・ウイルス性は抗ウイルス薬がなく、対症療法が中心
細菌性、寄生虫によるものは病原体特異的な治療が必要
予防・・・手洗い、患者との濃厚接触を避ける
感染拡大防止のため、食器・環境・リネン類などの消毒や嘔吐物などの処理には「**塩素消毒液**」を使用

※国立感染症研究所・厚生労働省HPを元に作成

気になる症状がある場合は、かかりつけ医にご相談ください

○ 麻しん(はしか)

<感染者数>

令和7年の麻しん感染者数累計（全数報告対象疾患（五類感染症））

国内：**44**件 福岡県内：**1**件（令和7年3月24日現在）

過去10年間の感染者数累計（国内）

国立感染症研究所感染症発生動向調査を元に作成

H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
35	165	186	279	744	10	6	6	28	45

日本は平成27年WHOにより麻しん排除状態と認定（以降の感染は海外からの輸入症例が発端）

<感染経路等>

- ・ 感染経路・・・**空気感染**、**飛沫感染**、**接触感染**で人から人へ感染が伝播
- ・ 感染力・・・**非常に強く**、免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症
→ 発症者1人に対し12～14人が感染（インフルエンザは1～2人）
- ・ 予防方法・・・**ワクチン接種**が最も有効で、接種により95%程度の人が免疫を獲得

○ 麻しん(はしか)

<症 状>

- ・ 感染後、約10日で**発熱や咳、鼻水**といった風邪のような症状
- ・ 2～3日熱が続いた後、**39℃以上の高熱と発疹**が出現
- ・ 肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎を発症

<感染が疑われるとき>

- ・ **事前に医療機関に電話連絡の上、マスクを着用**して受診
- ・ 受診の際には、感染を拡大させないように**公共交通機関等の利用はお控えください**

<定期予防接種>

生後12月から生後24月に至るまで および **小学校就学前1年間** の**2回**接種（平成18年度以降）

※昭和53年10月より麻しん定期予防接種導入（導入当時は1回接種）

※2回接種していない方は任意での接種を検討ください（費用は自己負担）

感染歴や予防接種歴が不明な場合は抗体検査を検討ください

○ 麻しん(はしか)

<生年月日別ワクチン接種歴>

昭和47(1972)年 9月30日 以前生まれ	昭和47(1972)年 10月1日～ 平成2(1990)年 4月1日生まれ	平成2(1990)年 4月2日～ 平成12(2000)年 4月1日生まれ	平成12(2000)年 4月2日 以降生まれ
接種していない 可能性が高い	1回接種のみ の 可能性が高い	1回接種のみ の 可能性が高い 特例措置*で 2回接種の可能性あり	2回接種 の 可能性が高い

*特例措置

平成20年4月1日から5年間、
中学1年生または高校3年生を対象に実施された追加接種措置

○ 带状疱疹ワクチン 令和7年4月より開始

- ・ **带状疱疹**・・・ 小児期等に感染した水痘ウイルスが潜伏し、免疫力低下によって再活性化して引き起こされる皮膚の病気。80歳までに約3人に1人が発症。
- ・ **令和7年度の対象者**

定期接種	<p>①年度中に 65歳 になる方 年度中に 70、75、80、85、90、95、100歳 (令和7年度に限り100歳以上)になる方 ※令和11年度までの経過措置 【接種期間】 令和7年4月1日～令和8年3月31日</p> <p>②60歳以上65歳未満で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障がいがある方 (概ね身体障害者手帳1級相当)</p>
任意接種	<p>①接種日当日に 50歳 の方 接種日当日に 55、60歳 の方 ※令和11年度までの経過措置 【接種期間】 誕生日の前日～翌年の誕生日の前日まで</p> <p>②令和7年4月1日時点 で 50、55、60、65歳 の方 ※令和7年度のみ経過措置 【接種期間】 令和7年4月1日～令和8年3月31日 (誕生日以降も期間中は接種可)</p>

○ 帯状疱疹ワクチン

- ・使用ワクチン … ワクチンは2種類あり接種方法や効果とその持続期間、副反応など特徴がそれぞれありますが、いずれも帯状疱疹やその合併症に対する予防効果が認められています。 ※厚生労働省HPを元に作成

	生ワクチン（ビケン）	組換えワクチン（シングリックス）
接種方法	皮下に接種	筋肉内に接種
接種回数	1回	2回 (2か月以上の間隔をあける)
自己負担額	4,900円	12,000円/1回

福岡市医師会ホームページ「予防接種実施医療機関検索」参照のうえ、
(<https://www.city.fukuoka.med.or.jp/FMANet/app/vaccination.php>)

直接 医療機関にご予約ください。